



umango

処理の「デバイス」ソース手順書

目次

目次	2
デバイス	3
A. ブラウザ・ドキュメントドロップ	3
B. 複合機	5
C. TWAIN スキャナー	8

デバイス

Umango で設定できるデバイスは 3 種類あります。設定後は 3 つのデバイスすべてと一緒に使用できます。3 つのデバイスは、ブラウザ（IP アドレスまたは DNS を使用してどのデバイスからでもアクセスできます）、複合機、および TWAIN スキャナー。

A. ブラウザ・ドキュメントドロップ

ブラウザをドキュメントソースとして設定し、「ドキュメントドロップ」機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ソース(1)」タブをクリックし、「コネクタ(2)」サブタブをクリックしてください。



ソース構成へのアクセス

2. ドキュメントドロップオプションをチェックしてください。



ドキュメントドロップオプション

3. 保存ボタンをクリックしてください



保存ボタン

4. Umango で処理するドキュメントは、「ドキュメントドロップ」から送信してください



「ドキュメントドロップ」ページ

ブラウザとドキュメントドロップ機能は、Umango サーバーアドレス (IP アドレスまたは DNS) からアクセスできます。

B. 複合機

サポートされている複合機 から直接、Umango を介して処理するドキュメントを送信できます。サポートされている 複合機 に組み込みアプリをインストールすることで、複合機 からドキュメントを送信できます。複合機 に組み込みアプリを設定してインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ソース(1)」タブをクリックし、「デバイス(2)」サブタブをクリックしてください。



2. 処理画面とデュプレックスのデバイス オプションを選択してください。



3. サポートされているデバイスリストからご希望のデバイスを選択し、デバイスを「チェック」してください。



4. ご希望のデバイスがサポートされているデバイスのリストにない場合は、「強制表示」ボタンをクリックしてください。



デバイスソース

一部のデバイス種類(タブレット、PCなど)およびUmango サーバーのサブネット上にないデバイスでは、強制表示

選択したデバイスは、この処理が使えます。サポート対象のマルチ機能デバイスは、處理を保存するときに組込アプリをインストールします。

この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する

強制表示 再起動 パスワード Search

説明	IPアドレス	ホスト名	シリアルナンバー	メーカー
Umango Server				Miscellaneous
Umango Server				Miscellaneous
RICOH MP C3004 JPN 1.45		MP C3004 JPN	3F65-634528	Ricoh

Showing 1 to 3 of 3 rows

強制表示ボタン

5. 検出したい「IP アドレスを入力し (1)」、「検出 (2)」ボタンをクリックしてください。



デバイスの検出

ネットワーク上にあるサポート対象デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。各アドレスはコンマまたはキャリッジ リターンで区切ります。

デバイスの IP アドレス

192.168.5.111
192.168.5.122
192.168.5.133

2 検出 キャンセル

強制検出オプション

※検出プロセスが成功すると、デバイスがサポートされているデバイスリストに表示され、選択できるようになります。

6. ご希望のデバイスにパスワードがある場合は、「パスワード」ボタンをクリックしてください。



デバイスソース

一部のデバイス種類(タブレット、PCなど)およびUmango サーバーのサブネット上にないデバイスでは、強制表示

選択したデバイスは、この処理が使えます。サポート対象のマルチ機能デバイスは、處理を保存するときに組込アプリをインストールします。

この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する

強制表示 再起動 パスワード Search

説明	IPアドレス	ホスト名	シリアルナンバー	メーカー
Umango Server				Miscellaneous
Umango Server				Miscellaneous
RICOH MP C3004 JPN 1.45		MP C3004 JPN	3F65-634528	Ricoh

Showing 1 to 3 of 3 rows

パスワードボタン

7. デバイスの「パスワードを入力し」、「OK」ボタンをクリックしてください。



8. 保存ボタンをクリックしてください。



Umango は、プロセス構成が保存された後、埋め込みアプリのインストールを試みます。埋め込みアプリのインストールは、デバイスごとに 1 回のみ実行されます。選択したデバイスに Umango 埋め込みアプリがすでにインストールされている場合、プロセス設定を保存した後、インストールプロセスは実行されません。

C. TWAIN スキャナー

スキャナーを Umango に接続する前に、スキャンステーションのコンピューターにスキャナーの TWAIN ドライバーがインストールされていることを確認してください（32 ビット TWAIN スキャナードライバーを使用していることを覚えておいてください）。次にスキャナーを接続し、Windows がスキャンハードウェアを正常に検出していることを確認してください。これらの手順については、スキャナーのメーカーのガイドを参照してください。

1. ソースを割り当てる。

スキャン クライアントとして使用されているコンピューターが、スキャン先の処理のソースとして割り当てられていることを確認します。



説明	IP アドレス	ホスト名	シリアルナンバー	メーカー
<input checked="" type="checkbox"/> TWAIN Device	0.0.0.0	C4D0E31945A1	Unknown	
<input type="checkbox"/> RICOH IM C2000 JPN 5.31	192.168.11.184	IM C2000 JPN	301A-614210	Ricoh
<input type="checkbox"/> RICOH IM C431F JPN 1.01	192.168.11.190	IM C431F JPN	30B9-610065	Ricoh

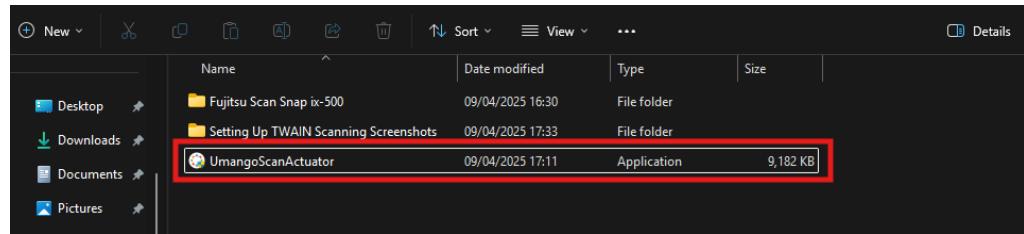
ソース構成へのアクセス

2. Umango の Twain スキャナー インテグレーター (Scan Actuator) をダウンロードします。Scan Actuator は、ブラウザと TWAIN ドライバー間の通信媒体となる小さなファイルです。スキャンを開始する前にインストールする必要があります。

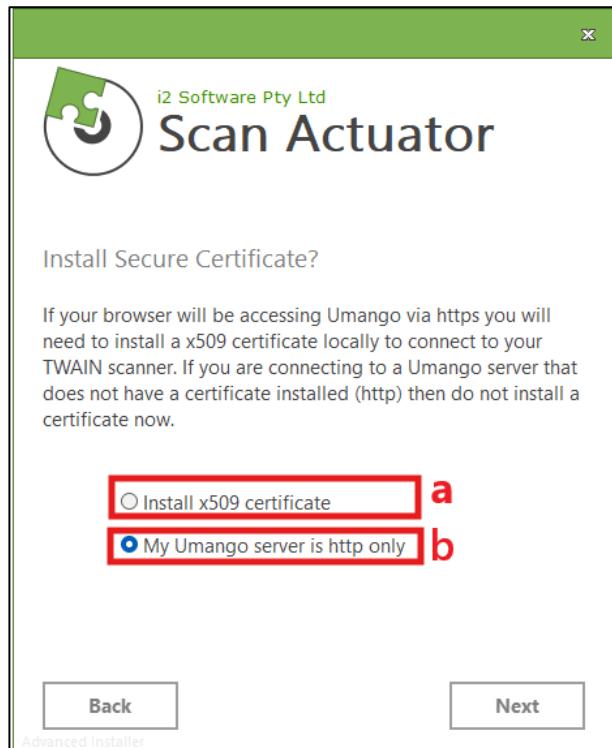


Scan Actuator ダウンロード

3. ダウンロードしたインストーラーを開き、「Scan Actuator」をインストールします。



「Scan Actuator」のインストーラー



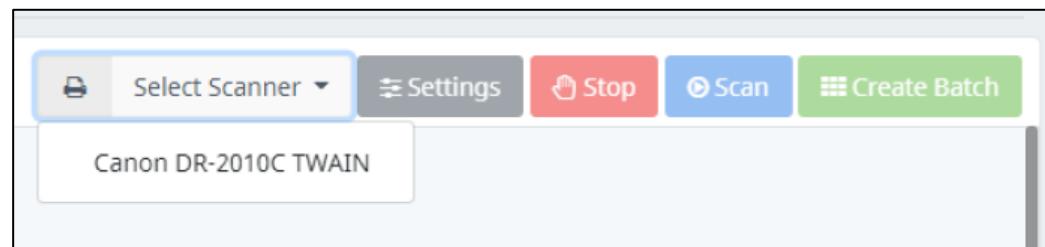
「Scan Actuator」インストールの証明書

a. 安全な証明書が存在する: Umango に x509 証明書が既にインストールされている場合のみ、「Install x509 certificate」オプションを選択してください。不明な場合は、Umango ダッシュボードへのアクセス方法を確認してください。
https を使用して Umango ダッシュボードにアクセスする場合は、スキャンアクチュエータを使用して x509 証明書をインストールする必要があります。

b. 安全な証明書が存在しない: http を使用している場合は、「My Umango server is http only」を選択する必要があります。

4. Umango ポータルの TWAIN スキャナメニューを再度開き、スキャナを選択します。

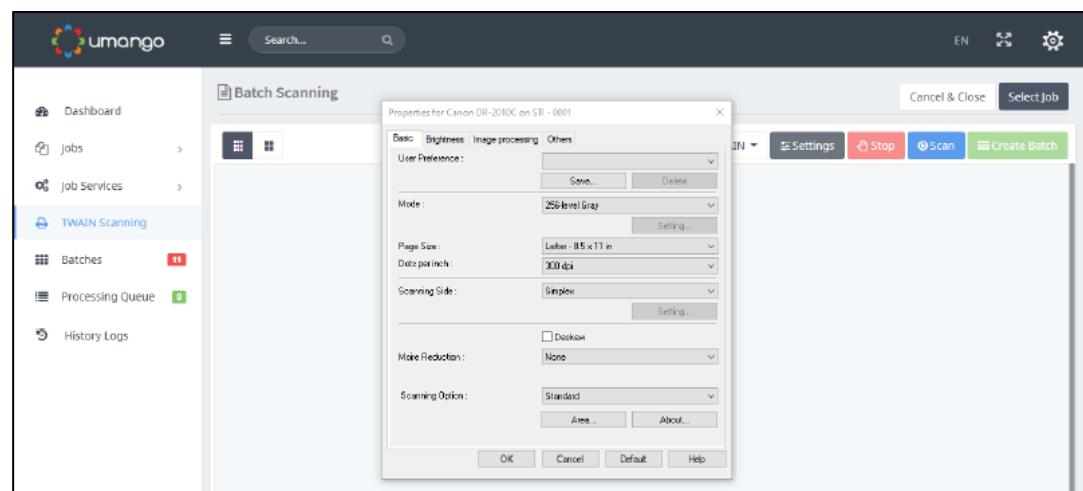
※ドライバーがすでに PC にインストールされているにもかかわらずスキャナーが表示されない場合は、スキャナー ドライバーが Umango でサポートされていないことが原因である可能性があります。



スキャナーの選択

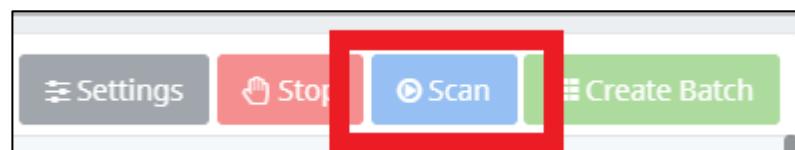
5. スキャナードライバーを構成します。

スキャナーの設定画面が表示されます。処理の要件に応じてスキャン設定を構成してください。設定オプションは、スキャナードライバーと選択したスキャナーによって異なります。



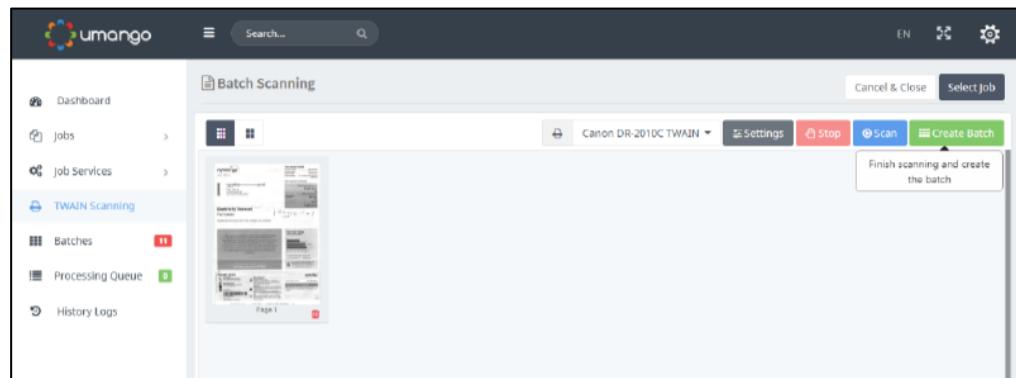
スキャナードライバーの構成

6. スキャンを開始します。ドキュメントをスキャナーのフィーダーに置き、「スキャン」ボタンを選択します。



スキャンを開始ボタン

7. スキャンした文書からバッチを作成します。バッチのドキュメントのスキャンが完了したら、「バッチを作成」ボタンを選択します。



スキャンバッチを作成

8. バッチ処理を開始します。

バッチが作成され、処理が開始されます。スキャンしたバッチのエクスポートを完了するためにユーザーによる認証が必要な場合は、次の画面が表示されます（ユーザーの介入は、選択したジョブ内の設定によって異なります）。ユーザーの介入が必要なバッチは、「バッチ」メニューを選択することで表示および処理できます。